

「実習をふりかえって」

[公立中学校 社会]

実習をふりかえって、あらためて教員という素晴らしさを知ることができました。初めての自己紹介では質問もなく、まったく心を開いてくれていませんでした。しかし、その日の間に少しずつ話をしていく中で、自然と生徒の心が開き、イジられたり、冗談を言いあえる関係性へとなっていました。初めての50分授業は、とても緊張し、時間がかかりあまりそうになりましたが、うまくアドリブをきかせながら、無事に終わることができました。その中で感じたのは、生徒への感謝と申し訳なさです。正直、初めての授業では、生徒がどんどん手を挙げてくれて、積極的に答えてくれる生徒が多かったので、すごく助けられました。なので、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、授業を終え、この授業は生徒にとっては1度しかないと考え、課題も残り、申し訳ないという気持ちになりました。だから、ここから1回の授業への思いというのは自分の中で変わっていききました。

1週目の土曜日には授業があり、クリーン作戦という地域の人たちとの清掃活動も行いました。先生の仕事は本当にいろいろあるんだなと実感する1日でもありました。また、1週目から、部活動にも参加し、授業以外のところで生徒の新たな一面もみれましたし、生徒との関係性もできたと思います。

2週目には、全部で12回の授業を行いました。2週目は、自分の中でもなかなかハードな日もあり、へろへろになるまで頑張ったなと思います。それと同時に自分が成長しているなと思うところもたくさんあり、それが自分の中の喜びでした。また、生徒との関係性も日々よくなっていき、正直、毎日が楽しかったです。昼休みには、クラスの子たちとチェンピラミッドラン（体育祭の学年科目）の練習を一緒にして、時間を共にすることが多くなっていききました。上記でも書いたように、2週目は本当にへろへろな毎日でしたが、それ以上に生徒と過ごす毎日が楽しくて、生徒の存在の大きさをあらためて感じました。

3週目の木曜日には、体育祭がありました。体育祭の予行演習や前日には、先生方やクラブ・委員会等で割り当てられている生徒たちと一緒に体育祭の準備も行いました。体育祭の準備は思っていた以上に大変でしたが、どの先生方も生徒も一生懸命やっている姿がとても印象的でした。

そして、体育祭当日、私はカメラを片手にみんなと一緒に楽しみ、全力でがんばりました。特に担当クラスの子には思い入れが強く全力で応援している自分がありました。みんなのがんばりを見ていて、自分の中学生の頃を思い出しました。体育祭はやはりクラスを団結させるなとあらためて感じました。結果的に最下位と結果をみると残念さはありますが、それ以上にみんなが体育祭に向けいろいろ考え努力していたことが本番で発揮できた過程がすばらしく、とてもほめてあげたいなと思いました。そして、体育祭のがんばりをぜひ今後の学校生活にいかして行ってほしいなと思います。

最後の終礼では、みんなが僕を囲むように立ってくれて、話そうと思ったのですが、泣いてしまいました。3週間ふりかえって1組のみんなには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。どんな時も話しかけてくれたし、授業も本当にみんなが協力してくれました。

本当に「ありがとう」って伝えられたことが良かったです。2年1組が本当に最高のクラスになることを願っています。

「ありがとう」